

## 第1回 鴨川市前原横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会 会議録

### ■開催日時・場所・出席者

日時 : 平成30年5月30日(水) 午後2時00分から午後4時10分まで

場所 : 鴨川市役所7階会議室

出席者 : 以下のとおり

### 【出席委員】

No.	氏名	備考
1	鈴木 健史	(一社) 鴨川市観光協会 会長
2	徳山 英樹	鴨川市漁業協同組合 総務部長
3	鈴木 淳	学校法人文理開成学園文理開成高等学校 理事長・校長
4	橋詰 良子	地域おこし協力隊
5	水谷 好伸	鴨川ライフセービングクラブ 会長
6	菅原 明善	(一社) 鴨川市青年会議所 副理事長
7	立野 健児	鴨川ライオンズクラブ若獅子支部 会長
8	川井 幹雄	鴨川サーフィンクラブ 会長
9	原田 洋美	NPO 法人鴨川ガイド協会 理事
10	渡辺 淳一	城西国際大学観光学部 教授
11	川上 周一	公募による市民
12	林 良樹	公募による市民

### 【欠席委員】

No.	氏名	備考
1	藤巻 武仁	(一社) 鴨川市観光協会 副会長

2	清水 宏	鴨川市商工会 観光サービス業部会長
3	福田 雄一郎	鴨川市商工会 前青年部長
4	久根崎 達郎	鴨川温泉旅館業協同組合 専務理事
5	中橋 健二	鴨川シーワールド 営業推進支配人
6	村永 信吾	鴨川市健康づくり推進協議会 会長
7	内山 達也	城西国際大学観光学部 准教授
8	大内 洋	公募による市民
9	岡野 大和	公募による市民
10	庄司 修	公募による市民

【アドバイザー】

No.	氏名	備考
1	樋口 洋子	鴨川観光プラットフォーム株式会社 取締役
2	安田 景憲	鴨川観光プラットフォーム株式会社 事業推進統括

【市行政関係者】

所属・職	氏名	備考
鴨川市長	亀田 郁夫	
鴨川市建設経済部長 兼商工観光課長	平川 潔	事務局
鴨川市建設経済部 商工観光課長補佐	小柴 則明	事務局
鴨川市建設経済部 商工観光課 観光振興係長	廣部 保幸	事務局

鴨川市建設経済部 商工観光課 新たな観光づくり係 主査	濱野 和明	事務局
-----------------------------------	-------	-----

【試行事業業務委託事業者】

ヴィジョンクエスト株式会社 斉藤 隆秀

株式会社日宣メディックス 藤咲 直剛

■配布資料

- ・ 試行的取り組みの概要
- ・ 海辺の魅力づくり等を通じた鴨川市観光振興戦略 2018-2020
- ・ (別紙3)平成30年度地方創生推進交付金(第1回)実施計画【平成28年度開始事業】ver.2(P.8のみ)

■会議要旨

1 開会(午後2時00分)

2 市長あいさつ

昨年度は、本計画を推進するため、事業の推進主体となる鴨川観光プラットフォーム(以下、プラットフォームという。)について組織強化を行った。

また、期間がない中ではあったが、プラットフォームにより、グランピングの実証実験を行ったほか、海辺のまちづくりを踏まえた、今後の観光戦略等についても、策定を進めた。

本日は、それぞれの内容について報告等させて頂くが、これら取り組みについては、本来であれば事前に皆様にご議論頂くべきところであったが、事業期間が限られた中での取り組みということもありプラットフォームとの調整により実施をさせて頂いた経緯がある。

これらの取組につきましては、前回2月の推進委員会の中でも説明をしたが、委員の方からは、プラットフォームと行政で進めており、委員会の意見が反映されていない等の意見も出され、委員の皆様方からご心配・ご不満の声も頂いたことは十分に認識おり、また大変申し訳ないと思っている。

私の基本的なスタンスとして、本計画の推進にあたっては、推進委員会が事業全体の方向性を決定していく主体であるという考えは変わっていない。

なお、今後ご検討頂くべき事項として、計画の一部として市民会館廃止後の利活用についても記載されていたが、市民会館の廃止が白紙となったため、これに変わる施設等の検討が必要であること。

また、体験交流広場についてもグランピングの実証実験を行ったが、これをどのように位置付け、施設としての整備を行うのか、機能としてフレキシブルに展開をするのか等、更なる検討が必要である。

加えて、海辺の魅力づくりの展開に向け必要となっている様々なプログラムについて、喫緊の課題として検討を進める必要があると考えている。

これらについては、今後、本委員会の議論を踏まえながら推進して参りたいと思っているので、改めて、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

### 3 委員長あいさつ

渡辺渡辺委員長よりあいさつがなされた。

半数が欠席。委員長の責任と思っている。プラットフォームの強化については、委員皆さまも必要だという認識だと思っている。しかしながら、本計画自体の議論が1年間ほとんどなかった。委員長としては、改めて今年度委員会として協議を進めていきたい。

体制を整えて、委員会として責任を果たしていきたい。

委員長から、本日の会議の議事録署名人として、橋詰委員及び林委員が指名された。

### 4 議事

#### (1) 試行事業の結果について

鴨川観光プラットフォーム株式会社 安田景憲事業推進統括から説明がなされた。

- 川井委員 初日に行ったが、人がいない感じで、寒く、知り合いもいないため、すぐ帰ってしまった。
- 鈴木委員 来場のきっかけについて。90%前後が、知人の紹介であったが、Web 広告からの誘導がもっと欲しい。
- P F 安田 手作業での抽選であったため、(参加者取りまとめの) ミスを防ぐため、公表していた申込み期限よりも前に参加者を確定していた。Web 広告については、募集期間の後半において展開されたため、参加した方(アンケートに回答した方)からは、「知人からの紹介」が多くなったと認識している。バナーについては、カモ旅にも掲載した。
- 鈴木委員 了解した。カモ旅を使った集客ができたことが確認できた。
- 亀田市長 コンテナハウスについて、総合運動施設に置く予定であったが、グランピングに変更した。アンケートによるデータを取り、今後、ハード面、ソフト面を活用する前提で実施した。結果、前向きなデータを取ることもできた。
- 林委員 市民がレンタルできるか？
- 亀田市長 データを取ってくれるのであれば、レンタルすることは可能である。
- P F 安田 料金は、検討中である。機材のメンテナンス費用程度の最低限のコストについては、回収する中で、できるだけ低価格に設定したい。
- 平川部長 機材は、市の持ち物である。市から PF へ活用をお願いしている。5月に、フラワーセンターから活用できないかとの申し出があり、過渡的な取組みとしてフラワーセンターへ貸し出しているため、実物を見る場合は、直接フラワーセンターでご覧頂きたい。
- 渡辺委員長 料金設定の問題。アクティビティの設定の方法についても検討が必要。
- 亀田市長 交付金を使った事業。データを取れば良い。
- 渡辺委員長 実証(今後の活用にも有効なデータを取る)ができなければ、意味がない。
- 鈴木委員 事業性を重視するなら10張必要。飲食も提供しなければ、儲からない。  
グランピングの場所として、市民会館やプールの跡地の活用を検討したらどうか。人の集まる場所に設置し、運用を効率的に。
- P F 安田 実証実験のコントロールのため(予算的にも)、4張りとした。利益率は高い。  
(事例紹介)伊豆では、陸路で行けない場所でグランピングを行っている。食事抜きで1

泊 15,000 円（渡船料含む）。40 名以上しか受け付けない。ほかに、非日常感も演出している。

(2) 観光振興戦略について

(3) 今後の方向性について

ヴィジョンクエスト株式会社 齊藤隆秀より説明がなされた。

渡辺委員長 海辺のまちづくりで、エリアマネジメントセンター、チャレンジショップ、体験型観光商材の開発と観光戦略。報告書よりも広範囲の取組みが必要なのか？

VQ 齊藤 マリンスポーツ、チャレンジショップ、エリアマネジメントセンター、魅力体験広場の4つがメイン。メイン事業は、やらなければ、来年度事業が危うい。方法論には、制限がない。財源を確保しているのみ。3月末までに終了しなければならない。実証実験も行う。早急に内容設計の整備が必要。オール鴨川で取り組まなければならない。

渡辺委員長 エリアマネジメントセンターについては、大きな課題。その他は、委員会としても認知している。

各委員からの質疑は？

林委員 3つの交付金について。32年までに終了させる？

VQ 齊藤 来年度までに4つの事業のほか、DMOの機能強化をしなければならない。交付金が終了するため、それまでに自走可能な組織にしなければならない。

亀田市長 全体で考えて、協働して進めていく。他の交付金事業とも繋がりがある。VQには、今回、29年度の報告に加えて、今後の全体の戦略をお願いした。行動計画を早急に決める必要がある。この会議は、現実的に海辺の事業だけではなく、全体を見据える必要がある。

平川部長 ハードの現状。当初、市民会館を廃止し、エリアマネジメントセンターを予定していたが、市民会館が継続するため、他に候補地を確保する必要がある。

魅力体験広場はコンテナハウスとして（拠点）、その候補地のひとつが、フィッシャリーナだが、まだ漁協との協議もできていない。この点については、事務局が整理し、協議させて頂きたい。市民会館周辺も、駐車場、プールの権利関係の整理、使い方について見直しを行う。漁協との協議も行う。改めて議論の場を設ける。

林委員 ヴィジョンが大事。「良質な日常」は、抽象的だ。どうする？

良品計画が関わったみんなみの里は、デザインが良くなった。デザインは大事。海も山も統一感が大事。

橋詰委員 方向性が抽象的で定まっていない。明確にする必要がある。デザインは非常に大事。デザインは、第一印象になるので、名前をつけるのと同じ。

代理（文理） 中身を大事に。議論をして良い方向に進んでいけばよいと思う。

原田委員 荷が重い。直感的でなく、十分な議論が必要。

川井委員 市民会館の印象が悪い。古く、臭い。施設も悪い。都会からは遠い。海をしっかりと捉える。テトラポットが邪魔。現状に1つ何か加えても難しい。良くならない。そのために、委員を引き受けた。サーフィンは、かつて、悪いイメージがあったが、海を注目してくれてイ

メージも一新された。美味しい海鮮、安く食べられる場所も必要。

立野委員 エリアマネジメントセンター、公園跡地に作るのではなく、公園を残して、市営プール跡地か、駐車場の場所に作った方が良いのでは？

菅原委員 まちづくりとしてのイメージ、デザインは非常に大事。みんなみの里に無印良品が入っただけだが、反響が大きい。田舎では影響力が大きい。(本委員会は) 1年前と何が変わったのか？繰り返になってしまうのか？課題の再認識ができたので、仕切りなおしたい。

水谷委員 前原・横渚海岸のため集められた。全体のデザインを考えなければならない。駅は邪魔。ならば、交渉しなければならない。駅をよけて、道なりにくれば、ビーチに着く。単純なことから。大きなことから細かいところへ。的を得たことをひとつずつ。市民会館、プールもいらない。更地にしてから、活用方法を考える。でなければ、まちづくりは考えられないのでないかと思う。

徳山委員 鴨川の海は、すごくキレイ。周辺とも引けをとらないが、海に行くまでの道が悪い。フィッシャリーナの整備は、できる限り協力したい。

鈴木委員 行政に、できること、できないことを整理してもらい、できることだけ議論する。時間がない。デザインが重要。4点に絞り、1つ1つに焦点を当て、整理していきたい。

渡辺委員長 時間が限られているため、ポイントを絞りつつ全体を見て本会議を進めていきたい。手段の話だけではダメ。背景の説明も大事である。

#### (4) その他

事務局 次回の会議について、決まり次第連絡をさせていただく。

## 4 閉会

---

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の内容について確認します。

平成30年5月31日

橋詰 良子

---

林 良樹

---